

## 2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月25日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 2925 URL http://www.pickles.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2925-7700  
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年2月期第1四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第1四半期	10,599	5.9	745	79.3	784	76.8	527	125.3
2019年2月期第1四半期	10,007	4.0	415	14.5	443	14.2	233	△11.2

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 489百万円 (103.6%) 2019年2月期第1四半期 240百万円 (△12.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第1四半期	82.38	81.75
2019年2月期第1四半期	36.57	36.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年2月期第1四半期	23,175	12,222	52.4
2019年2月期	22,132	11,904	53.5

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 12,145百万円 2019年2月期 11,835百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2019年2月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	-	0.00	-	28.00	28.00
2020年2月期	-	-	-	-	-
2020年2月期(予想)	-	0.00	-	28.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,332	2.1	915	0.2	1,010	2.1	606	1.2	94.83
通期	42,513	4.5	1,580	12.1	1,739	11.4	1,040	13.0	162.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）—、除外 一社（社名）—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期1Q	6,398,000株	2019年2月期	6,398,000株
② 期末自己株式数	2020年2月期1Q	257株	2019年2月期	257株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期1Q	6,397,743株	2019年2月期1Q	6,397,801株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第1四半期連結累計期間についても百万円単位で表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中の通商問題が世界に与える影響や、海外の政治情勢、金融資本市場の変動の影響などの懸念があり、景気は不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、少子高齢化などの影響から市場規模の拡大は見込めないうえに、人件費及び物流費をはじめとしたコスト上昇のリスクが高まっております。また、消費者の安全・安心への関心は依然高く、フードディフェンスへの取り組みや、FSSC22000、ISO9001などによる高い品質・衛生管理体制の整備が求められるとともに「個食」や「中食」など、消費者のニーズは多様化しております。更に、10月からの消費税増税により、消費者の節約志向が強まるなど厳しい環境になると予想されております。

このような状況のなか、当社グループは、㈱ピクルスコーポレーション西日本の佐賀工場が稼働から1年が経過し生産が本格化したことで、北海道から九州までの全国に展開するネットワークを強化しております。この全国ネットワークを活用し、新規取引先の開拓や既存取引先への拡販に取り組みました。販売促進活動の一環として「牛角キムチを買って焼肉しよう！お料理しよう！プレゼントキャンペーン」と題し、牛角韓国直送キムチを対象としたキャンペーンを実施しております。

製品開発面では、期間限定商品として「ご飯がススム うま辛胡瓜」のリニューアル販売の実施や、㈱フードレーベルより牛角キムチをイメージした調味料の「牛角キムマヨ<sup>®</sup>」を発売いたしました。

また、新規事業として計画しております外食事業及び小売事業の実施を目的として㈱OHを設立いたしました。

売上高は、「ご飯がススム」などのキムチ製品や「牛角やみつきになる！丸ごと塩オクラ」などが好調に推移したことなどから増収となりました。

利益については、天候が比較的安定したことによる原料野菜の価格安定や、佐賀工場などの利益改善などにより、増益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,599百万円（前年同四半期比5.9%増）、営業利益は745百万円（同79.3%増）、経常利益は784百万円（同76.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は527百万円（同125.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,042百万円増加し、23,175百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が702百万円、㈱手柄食品の増築工事等により建物及び構築物が372百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて724百万円増加し、10,952百万円となりました。これは主に買掛金が683百万円、流動負債のその他が283百万円それぞれ増加したことと、長期借入金101百万円減少したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて317百万円増加し、12,222百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が347百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、2019年4月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,835	2,772
受取手形及び売掛金	3,925	4,627
商品及び製品	266	344
仕掛品	69	69
原材料及び貯蔵品	266	295
その他	147	106
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,509	8,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,323	4,695
機械装置及び運搬具(純額)	1,435	1,427
土地	6,494	6,506
リース資産(純額)	49	47
建設仮勘定	568	567
その他(純額)	59	58
有形固定資産合計	12,931	13,303
無形固定資産		
のれん	712	686
その他	84	91
無形固定資産合計	796	778
投資その他の資産		
投資有価証券	523	479
繰延税金資産	252	263
その他	118	135
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	893	878
固定資産合計	14,622	14,960
資産合計	22,132	23,175

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,905	3,588
短期借入金	1,450	1,650
1年内返済予定の長期借入金	1,151	1,096
リース債務	17	14
未払法人税等	393	257
賞与引当金	129	53
役員賞与引当金	61	-
その他	1,806	2,090
流動負債合計	7,916	8,751
固定負債		
長期借入金	1,378	1,276
リース債務	2	0
繰延税金負債	18	14
退職給付に係る負債	402	410
負ののれん	172	162
その他	337	336
固定負債合計	2,311	2,201
負債合計	10,227	10,952
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	740	740
資本剰余金	2,107	2,107
利益剰余金	8,892	9,240
自己株式	△0	△0
株主資本合計	11,740	12,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	56
その他の包括利益累計額合計	94	56
新株予約権	64	71
非支配株主持分	4	5
純資産合計	11,904	12,222
負債純資産合計	22,132	23,175

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
売上高	10,007	10,599
売上原価	7,620	7,756
売上総利益	2,386	2,843
販売費及び一般管理費	1,970	2,098
営業利益	415	745
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
持分法による投資利益	1	9
負ののれん償却額	9	9
受取賃貸料	10	11
その他	13	16
営業外収益合計	36	47
営業外費用		
支払利息	1	2
賃貸費用	5	5
その他	0	0
営業外費用合計	7	8
経常利益	443	784
特別利益		
補助金収入	12	1
特別利益合計	12	1
特別損失		
固定資産処分損	25	15
特別損失合計	25	15
税金等調整前四半期純利益	430	770
法人税等	196	242
四半期純利益	234	527
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	233	527

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	234	527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△37
その他の包括利益合計	6	△37
四半期包括利益	240	489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	240	489
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。